

事業番号	14 04 07	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	センター的機能充実事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-4 教育再生プロジェクト		課・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
		5 すべての子どもの学びを保障する支援		実施期間	H25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	自立活動担当教員が地域の小中学校の特別支援学級を巡回し、相談支援を行うことによって、特別支援学級に在籍する児童生徒の障害特性や教育的ニーズに応じた支援ができるように専門性の向上を図る。 理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)等の外部専門家を活用し、障害の重複化・多様化に対応したより高度な自立活動の専門性の強化を目指す。		
現状(予算編成時)	○センター的機能に係る相談件数の状況:幼保小中高等学校からの相談件数が依然多い状態が続いている。(H24 18,398件) ○小中学校特別支援学級の学級数、在籍者数の増加により特別支援学級担任の専門性の確保が難しい状況となっている。 ○特別支援学校幼児児童生徒の障害の重複化・多様化が進み、個々の実態把握の困難さや問題行動の対応・予防等、より高度な自立活動の専門性が必要な状況となっている。		

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法74条、特別支援学校学習指導要領 特別支援教育就学奨励費補助金(特別支援教育体制整備の推進分)
----------	-------------------------------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)				
	○各特別支援学校の自立活動担当教員が地域の小中学校120校(全県)に対して巡回相談支援を行う。 ○外部専門家派遣を1校あたり2~3回程度実施。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)
自立活動巡回支援事業	直接	・自立活動担当教員による地域の小中学校118校の特別支援学級に対して巡回相談支援を行った。	0	0	0
特別支援学校外部専門家派遣事業	直接	・PT, OT, ST等の外部専門家を各特別支援学校18校に派遣し、児童生徒の自立活動の指導がより充実した。	1,096	924	1,093
		合計	1,096	924	1,093

事業コスト	区	分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算		792	1,096	1,093
		補正予算				
		合計(A)	0	792	1,096	1,093
	Aの財源	一般財源		529	731	729
		県債				
		国庫支出金		263	365	364
		その他	0	0	0	0
	決算額(B)		621	924		
概算人件費	職員数(人)		0.20	0.20	0.20	
	概算人件費(C)	0	1,652	1,652	1,652	
概算事業費(B(A)+C)		0	2,273	2,576	2,745	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
巡回支援の対象校数	—	120校	118校	未達成	—
巡回支援の対象教室	—	—	—	—	240教室
外部専門家派遣回数	22回	46回	43回	未達成	46回

目標に対する成果の状況	・1校あたりの特別支援学級数が多く、想定していた学級数よりも多くの特別支援学級(155学級)に巡回相談支援を行うことができたが、学校数で見たときに、目標数よりも少なくなった。 ・当初予定していた講師との日程調整がうまくできず、他の講師も検討してみたが、児童生徒の実態に合わず、結果として計画を実施できなかったものが数件あった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・自立活動担当教員による巡回相談支援については、目標を学校数ではなく、学級数に変更して実施する。 ・外部専門家派遣事業については、計画を立てる段階で日程調整が難しそうな講師については、代わりの講師についてあらかじめ考えておく。
--------------------	---